

政治家の見識

久しぶりに訪れた吾妻渓谷は、冬支度の真っ最中。国道15号沿いの小さな入り口から渓谷に足を踏み入れると、ブナやナラの雜木林は落ち葉に埋もれ、冬を待つばかりです。

朱色に塗られた鹿飛橋は、つ

つまじやかで、唯一冬の渓谷に彩りを添えています。この辺りは渓谷の中で最も川幅が狭く、鹿が跳んで渡ったと言われるほど両岸は近接し、乳白色に染まつた川の水を抑えて蛇行しています。

澄み切った初冬の渓谷に、枯

鬼石町長

せきぐち
関口 茂樹

鬼石町鬼石



れ葉を踏みしめる音だけが大きくなると、静寂と安らぎの世界が広がります。

若山牧水や多くの文人墨客に愛されたこの静けさや、豪爽な景観を今にとどめるこの吾妻渓谷の大半が、ハツ場ダムの建設により湖底に沈もうとしています。

ふるさとの美しい渓谷と由緒

ある温泉を洗めてしまって、鬼石の轍(てつ)を踏むことになりますのか、冬の渓谷を駆策しながら、ついでに考えてしまいました。

環境問題や財政上の理由などから、このところ大型公共事業の見直しが相次いでいます。「一度始まつたら止まらない」と言われた公共事業に変化の兆しです。

環境問題や財政上の理由などから、このところ大型公共事業の見直しが相次いでいます。「一度始まつたら止まらない」と言われた公共事業に変化の兆しです。

環境問題や財政上の理由などから、このところ大型公共事業の見直しが相次いでいます。「一度始まつたら止まらない」と言われた公共事業に変化の兆しです。

求められる歴史的直感

政府は公共事業について九八年度から「時のアセスメント」の導入を決めました。公共事業は民間の活動と異なり、利子や減価償却など、時間の価値が重要な現象についての認識がほとんどなく、一度計画が決定されると、完成までいく時間がかかりても変更されません。

これでは時代が変わつて不要

になった公共事業であっても継続され、ムダが発生します。このような事態を回避するため、時のアセスメントが考えられました。

ハツ場ダム建設計画は、五十年の歳月の経過、その間の植樹や砂防事業などによる国土保全の大きな成果、情報通信の充実、そして人口減少問題などを勘案するなど、その必要性は確実に減

少しています。

しかし、国民の自然保護や環境問題への関心の高まりなどを考慮すると「ダムの本体工事」の実施については、広く議論する必要があると考えます。

スペインの哲学者・オルテガは、政治家に最も必要な資質は「歴史的直感」だと指摘しまし

た。国家と国民が歴史の流れの中での方向を取るべきか、もしくは望んでいるのかを肌で感じて行動に移す能力です。

環境破壊が深刻化し、人間の活動や存在そのものがそれを加速している今、私たちほどのよう自然と付き合つていけば良いのかが問われています。

コンクリートで山河を固めて洪水を力で防ぐのではなく、負担とリスクが伴つても、水害を軽減し、自然と共に存する水害への対応を、次の世代のためにも私たちには求めねばなりません。

国土の大半が低地にあるオランダで、国土の10%を元の姿に戻そうとする自然回復の壮大な実験が始まっています。私たちに決断を促すかのように。

早大法学部卒。町議から86年に町長となり、現在4期目。国道も鉄道もない市町村全国連絡会会長、ダム所在市町村全国協議会常任理事、同県支部長、全国山村振興連盟県副支部長などを務める。52歳。